

# DOCOMOMO Japan NSC Technology 2008 in Kyoto 研究発表会プログラム

4月11日(日) 京都国際会館 ROOM C-2

8:45～	受付	
9:00～9:50	メインセッション 素材と空間	(モデレーター：山名善之)
	1. 「長方形のプリズム」—坂倉準三設計『飯箸邸』の記録と保存から	○藤木隆男(藤木隆男建築研究所)・金澤良春
	2. 同潤会アパートにみる鉄筋コンクリート構造の変遷	○志岐祐一(日東設計事務所)
	3. 東京駅丸の内駅舎保存復原における理念と技術—重要文化財を保存し使い続けるために—	○田原幸夫(ジェイアール東日本建築設計事務所)
	4. 日本におけるガラスブロックの発展と近代建築への適用に関する史的研究	○井上朝雄(九州大学)
	5. 金属製建具の歴史と再生技術	○樋口豊(トステム株式会社)・宝田均
10:00～11:08	技術1	(モデレーター：田原幸夫)
	6. 鉄筋コンクリート造文化財建造物の耐震改修における補強構法決定要因に関する研究	○熊谷亮平(首都大学東京)・田口翔三
	7. 自由学園明日館の修理工事における意思決定プロセス—構造補強を中心として—	○角陸順香(東京大学)・清家剛
	8. 歴史的建造物の保存・活用事例—横浜赤レンガ倉庫、明治生命館について—	○中嶋徹(竹中工務店)
	9. 煉瓦造建築物の保存・改修技術の事例：横浜赤レンガ倉庫の活用保存における構造デザイン	○本間淳(TIS&PARTNERS)・今川憲英
	10. 文化学院旧校舎の保存活用のための耐震診断	○松嶋哲英(松嶋哲英建築研究所)
	11. 木造建物の耐震改修構造設計事例の報告—東陽院耐震改修—	○細入夏加(TIS&PARTNERS)・今川憲英
	12. 海のギャラリー—林雅子設計—の耐震診断の報告	○下久保亘(TIS&PARTNERS)・今川憲英
11:15～11:51	技術2	(モデレーター：熊谷亮平)
	13. レイクショアドライブ 860・880の改修実態	○森田芳朗(東京大学)・廖殊岑・朴常勲・松村秀一
	14. ニューヨークにおける初期高層住宅の運営に関する研究	○廖殊岑(東京大学)
	15. 南極・昭和基地建築群	○村上祐資(東京大学)
	16. ケーススタディ 1960年代の郊外住宅団地 ピヒラヤマキ：技術の歴史的評価、コンクリートパネル外壁材の修理のガイドラインおよび1960年代の色彩復元のためのガイドライン	○Riitta SALASTIE(ヘルシンキ都市計画局)・橋寺知子
12:00～13:00	昼食	
12:30～13:30	京都国際会館見学会	
13:00～13:54	保存：伝統	(モデレーター：今川憲英)
	17. 歴史的建造物保存修復と継続使用のため伝統技術“曳家・家起し”の応用	○岡部則之(岡部則之計画工房)
	18. 祇園祭「橋弁慶山」の保存と継承について	○瀬戸川雅義(アールセッション)
	19. 台湾総督府公文書類に掲載された木造洋風小屋という建築構造に関する史的研究	○蔡侑樺(成功大学)・徐明福
	20. 伝統的民家の今日的使用に対応する保全とその考察—世界遺産都市・中国雲南省麗江旧市街地を事例として—	○藤木庸介(京都嵯峨芸術大学)
	21. 世界遺産都市における町並みの変容に関する研究—世界遺産都市・中国雲南省麗江旧市街地を事例として—	○北山めぐみ(ケイズ建築設計事務所)

14:00～14:40	保存：アーカイブ化	(モデレーター：渡邊研司)
	22. 京都工芸繊維大学美術工芸資料館が所蔵する村野藤吾の設計図面 アーカイブ整備方法と資料の特徴について	○福原和則 (鹿島建設)・竹内次男・石田潤一郎
	23. 近現代建築物の技術史的評価と建材資料の保存活用における諸問題	○加藤雅久 (居住技術研究所)
	24. 資料相互の関係性を重視したデジタルアーカイブと建築資料	○研谷紀夫 (東京大学)
	25. 日本建築学会による保存活動に関する一考察 ―保存要望書の事例に見る成果と問題点―	○高木愛子 (日本大学)・大川三雄
14:50～15:55	技術史・理念	(モデレーター：田所辰之助)
	26. ダシー・トムソンによる “On Growth and Form” のインパクト―生物学からモダン・テクノロジーへの変換―	○渡邊研司 (東海大学)
	27. 山田守作品におけるテクノロジーとデザインの融合	○大宮司勝弘 (東京家政学院大学)
	28. 「生き続けるための保存再生」―早稲田大学大隈講堂改修―	○関野宏行 (佐藤総合計画)
	29. 自邸ドーモ・ディナミーカの設計における山越邦彦の生産主義的傾向 1930年代日本におけるモダニズムの技術思想の一端	○梅宮弘光 (神戸大学)・矢代眞己・大川三雄・野沢正光・堀越哲美
	30. 谷村美術館における村野藤吾の設計プロセスと空間表現	○角田暁治 (京都工芸繊維大学)
	31. 沖縄県における近代建築の構法的特徴に関する研究 ―ムーンビーチについて―	○権藤智之 (東京大学)
16:00～17:00	クロージング・セッション	
16:00～16:20	講演：「建築の性能を認識するデザイン認識論」	今川憲英 (東京電機大学教授)
16:25～17:00	ディスカッション：各モデレーター	(司会：鱒坂徹)